



RI会長フランチエスコ・アレッソ (イタリア) 地区ガバナー 坂口元昭(米子南RC)  
会長:松浦常明 幹事:錦織信雄 雑誌・会報:岩井一郎

## 【第1663回例会次第(2025年12月3回)】

日時:2025年12月22日(月)12:30～  
会場:ANAクラウンプラザホテル米子  
(12月) 疾病予防と治療月間

## 1.開会点鐘

## 2.「われらの生業」斉唱

## 3.来賓及びビジター紹介

## 4.会長挨拶

## 5.歴代会長幹事タイム(坂口千加広元会長)

## 6.幹事報告

## A.例会変更のお知らせ

米子RC……12/26休会

米子東RC……12/24休会

米子中央RC……12/25休会

境港RC……12/23休会

## ビジター受付

なし

なし

なし

なし

## B.その他

## 7.委員会報告

## A.親睦・出席委員会

出席報告・スマイル発表・事業所創立記念日

## B.その他

## 8. 【卓話】イニシエーションスピーチ

祇園崇広会員・阿部修会員・圓岡富雄会員

## 9.閉会点鐘

お知らせ

- 12/22(月)正副会長幹事会
- 12/31(水)新年祈願式
- 1/9(金)理事会

坂口ガバナー事務所の予定

- 1/11(日)米山記念奨学生選考委員会

★2025-26年度新入会員11名 純増10名★(2025/12/22現在)

## 【第1662回例会記録(2025年12月第2回)】

日時:2025年12月8日(月)12:30～

会場:ANAクラウンプラザホテル米子

出席率 80名[内免除12名] 中 44名 65.67%

米山BOX 774(累計 447,106円)

## スマイル

松浦常明…年頭初目標 純増10名 皆様のおかげで達成しました。ありがとうございました。

田中貴之…①大山平原ゴルフクラブで開催されました11月平日月例杯にて細田克彦会員優勝おめでとうございます。

②11月21日(金)に開催されました地区大会の打ち上げ会において過分なお心遣いを頂戴しありがとうございました。地区大会でお世話になった会員の皆様に深く感謝申し上げます。

鹿島康裕…本日より入会される圓岡さんをよろしくお願ひします。

圓岡富雄…本日よりお世話になりますエムケイ行政書士事務所行政書士圓岡富雄です。よろしくお願ひいたします。

## 【卓話】俳句講評 三保文嗣会員



令和7年8月4日に俳句同好会夏季句会がANAクラウンプラザホテル米子にて開催されました。三保会員より1人3句の投句を頂き互選された2句を紹介していました。

## 【卓話】イニシエーションスピーチ 米山純司会員



皆さん、こんにちは。10月に入会させていただきました、倉舗運送有限会社の米山純司と申します。イニシエーションスピーチということで、自己紹介も兼ねてお話をさせていただきます。私は昭和48年3月19日生まれの52歳。米子生まれ、米子育ちで、幼い頃からトラックとの関わりが強く、祖父も父もトラック稼業でした。実家の庭には、祖父が管理していた大型トラックがいつも駐車しており、毎日朝早くから動き出し、目覚まし時計変わりでした。祖父も父もトラック稼業で、まさに「トラック一家」。家の庭にはいつも大型トラックが停まっていました。父は当時運送会社の管理職でしたが、時にはトラックに乗ることもあり、その際にはよく仕事について行っていました。トラックに乗る楽しさと憧れを経験し、私は上手に“洗脳”されたのだと思います。幼い頃の私は、どうやらとんでもない少年だったらしく、両親はとても苦労したと聞いています。実家が国道沿いだったので、土団子を作って国道に投げつけたり、近所の空き家の窓ガラスを割って回ったり、数々の素行があったようです。時にはスズメバチの巣に棒を突っ込んで襲われたり、雪の降る中、大きな鉄柵の下敷きになって近所の方に助けてもらい、血だらけで帰ったりと、【裏面へ続く】

## 今後の米子南RC例会

日 時	第 回例会	内 容	場 所
1月9日(金)18:30～20:30	第1664回 (1月第1例会)	新年家族例会	ANACP ホテル
1月19日(月)12:30～13:30	第1665回 (1月第2例会)	【卓話】「鳥取県のサイクルツーリズム推進について」 鳥取県庁サイクルツーリズム振興室 課長補佐 中原登氏	ANACP ホテル

今なら完全にニュース沙汰です。よく生きていたなと、思います。そんな少年も、当時近所の公民館横に設置されていた危険物置き場からカセットプレーヤーやステレオ機器を見つけては持ち帰り、分解して修理を試みたり、使えそうな部品を移植して使えるようにしたりと、手先だけは器用な面もありました。その頃夢中で読んでいた、自動車のチューニングやレースを題材にした漫画『よろしくメカドック』に影響を受け、自動車整備やレースに強い興味を持ったことを覚えています。尚徳中学校から米子工業高校機械科に進学し、様々な良いことや、悪いことを経験し、よく卒業できたなど先生方もおっしゃっていたそうです。何とか卒業して、地元のディーラーに整備工として就職。今では考えられないほど愛車に乗って走り回っていました。勤務後には大山から蒜山へ抜ける鏡ヶ成の山道を攻めたり、境港で行われていたゼロヨン大会や、退勤してから朝まで走り回って会社の駐車場で仮眠したり…。とにかく走るのが好きでした。その後、一般自動車整備工場でトラックの整備工として働き、米子市内で運転代行業が広まり始めた頃、知人が始めた運転代行業でアルバイトをし、ガソリン代や維持費の足しにしていました。走ることが好きな私にはもってこいの仕事で、色々な車を運転できるのが魅力でした。走り足りない私は、父が経営する会社に転職し長距離トラックドライバーとなりました。当時は高速道路も今ほど整備されておらず、下道を走ることが多く、常に睡眠時間を削って走っていました。1日平均2~3時間の睡眠時間で超ブラック企業でしたね。辛かったですが各地のドライブインで美味しいものや綺麗な景色、深夜から徐々に明ける朝焼けの空は格別で、東名高速上り線東京方面の富士川SA1km手前から見える夜明け前の富士さんは最高の景色で、ご褒美でしたね。東は北海道、西は九州まで、沖縄以外の46都道府県すべてを仕事で訪れました。しかし十年後、パニック障害らしき症状を発症し、長距離を走ることが怖くなり、運転できなくなりました。パニック障害とは厄介で突然強い恐怖や焦り、過呼吸になつたり強い不安に悩まされる症状でした。5年間の投薬と治療で徐々に回復し完治しました。内勤に変えてもらい事務所勤務をしていましたが、31歳で一度退職し、松江市の鉄工所にて溶接や架台製作、下水浄化センターの汚水ポンプの設置、引き上げや配管。公共施設の新築工事など、運送業とは異なる業種を経験しました。鉄工所では全くの素人で、鉄の曲げや溶接、切断など、工業高校での実習経験は職人から見れば“遊び”的なものでした。少しでも自分にできうだと思い雇っていましたが、何もできないことを痛感しました。そこから年下の先輩たちに教わり、職の方々に叱責されながら経験を重ね少しづつ図面を解説し製作や設置を任されるようになりました。所帯を持ち、二人目の子どもができる頃、稼ぎをもっと増やしたいと考えていた時、恐ろしい“洗脳”的の力で、怖くて乗れなくなっていたトラックに再び乗りたいという思いが湧き、県外の運送会社に就職しました。その後、辛い決断をしなければならず、精神的に落ち込んだ時、ドライバーとして走り続ける中、車内のラジオから流れてきた歌詞がとにかく自分の心に刺さり、大号泣しました。号泣しながら走るトラックドライバーは異様な姿ですがそのアーティストの楽曲を聴き続け、今でもファンとして毎年ライブに足を運んでいます。その会社では運行管理の仕組みを学ぶことができ、近年の「2024年問題」に大きく関わり、生かす事になりました。そして13年前の2月、再びわが社に戻り、経験と知識を活かしてドライバー兼管理職として勤務することになりました。現在では、整備工の経験からトラックのタイヤ組み換えや簡単な修理・板金、鉄工所の経験から倉庫や会社内での修繕・製作を行っています。現場や作業が中心で経営や事務は未熟な時期もありましたが、約3年前に先代が急逝し、経営者として進む決断をして現在に至ります少し安全に関することをお話しします。幼い頃、歩いてたり、自転車に乗っていた時は車に対して「危ない!」「邪魔だな」と感じていました。ところが車を運転する立場になると、歩いてたり、自転車に対して同じように「危ない!」「邪魔だな」と感じます。さらにトラックを運転するようになると、車に対して「マナーが悪い」「危ない」「邪魔だ」と感じてイラつくこともあります。結局、自らが操る側になると、どの立場でも、相手に対してわがままな感情が生まれるので。趣味はバイクのツーリングで、事故や転倒で大怪我や命を落とす危険の高い乗り物の為、神経を研ぎ澄まさなければなりません。自転車、自動車、トラック、バイク、それぞれの立場を経験したことで、危険予測や相手の感じ方を察することができるようになり安全に楽しめるようになりました。仕事でも、現場経験からドライバーの立場を考え、アドバイスや指導を行う際に有効なコミュニケーションツールとなっています。経営側からすると現場や事務方の気持ちを理解できる分、辛い判断をしなければならないこともあります。それぞれの立場や視点から相手の気持ちを考えられるようになってきました。わが社での安全指導には【ゆづる運転】を取り入れています。よく「ゆづり合いの運転」と聞きますが、ゆづり合いは相手との意思疎通が必要です。大概は成立しますが、意思が伝わらず危険を伴つたり、最悪の場合は事故につながってしまいます。そこで、相手に判断を求めず、こちら側が率先して譲ることで回避できるのではないかと考え、【ゆづる運転】を実施してもらっています。気持ちよく譲ってもらえると「ありがたい」と私自身も思います。だからこそ、相手の立場を考え、これからも【ゆづる運転】と【危険予測と相手がどう感じるか】を指導していきたいと思っています。最後に、私が心がけている言葉があります。それは、「人生、難が無いのは無難な人生。人生、難があるのは有難い人生。」難があるからこそ「有難い」と思える人生を歩みたいと、私は考えています。誰しも生きていれば色々なことがあります。色々あるからこそ的人生です。今までたくさんの難があり、それを乗り越えて今があります。先程、パニック障害のお話をさせて頂きましたが、この病はこれといった原因がわからなくて、いつ誰がどのタイミングで発症するのか不明で誰が罹っても不思議ではないそうです。そして科学的な根拠はないと思いますが、この病を克服すると少々の事では落ち込まない強い精神力がつくとされているらしく、私も実感はあります。この難は自らが強くなるために訪れた有難い出来事で、当時同じ経験をされた方に症状のお話をするとすごく安心した事を覚えていて、今では同じような症状を感じられている方々にお話を出来る側になれて少しでも力になれたことがうれしく思います。この米子南ロータリークラブも、地区大会の直前に入会でき普段ではなかなか皆さんと接することが難しいかなと、馴染めるかなと、思っていましたが準備や大会当日の役割で皆さんと共に過ごし、作業をこなせたお陰で馴染み感が一気に築けた事も特別でした。前回のイニシエーションスピーチが延期になった事も普段では自ら座ることの出来ないセンターの席で坂口ガバナーや松浦会長、中津尾直前会長、田中副会長、と層々たる方々と連続で食事を囲めるという特別感。先日プログラム委員長の土岐さんから連絡をいただきイニシエーションスピーチの時間が10分から15分~20分に伸びましたとのことでした。私の事をもう少し詳しくお話が出来る事が出来るようになり、前回も延期になった事で色々とお声がけをいただき印象に残る出来事でもあり難かったです。米子南ロータリークラブとの出会いも、先代の急逝を受け止め、決断し、前に進んだからこそ得られた有難いご縁です。これからもたくさんの思い出を重ね、手と手を取り合い、四つのテストを胸に精進してまいります。これからよろしくお願ひいたします。以上で 私のイニシエーションスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。